

# 病院再編に向けた市の取組状況

問 地域医療課 ☎65・65500

人口減少や人口構造の変化、多様化する医療ニーズや医師の働き方改革への対応など、地域医療を取り巻く状況は大きく変化しています。本市では2040年を見据えて、現在と同じように、将来世代が長浜で安心して暮らせるよう、引き続き安定的に医療が受けられる体制づくりを進めています。

その一環として、令和元年8月に湖北圏地域医療構想調整会議で、市内4病院の院長が合意された「病院機能の再編案」（4病院の機能を残し、その機能を整理・再編する案）の実現に向けた取組みを進めています。

一方で、令和6年4月から全国で始まる医師の働き方改革に対応するため、病院に医師を派遣する京都大学と滋賀医科大学からは、令和4年6月に地域医療構想に基づく病院再編を早急に進めてほしいとの要望書が出されました。それを受けて、市では、令和4年11月に「病院再編にかかる長浜市立2病院経営形態検討委員会」を設置しました。

## 【取組状況】

○病院再編にかかる長浜市立2病院

経営形態検討委員会

市内3病院(市立長浜病院、長浜市立湖北病院、長浜赤十字病院)を一体的に経営し、強く安定した医療提供体制を構築できるよう、専門家や医療関係者による委員会で検討しています。



▲経営形態検討委員会

○(仮称)長浜における将来の医療を市民

とともに考えるタウンミーティング

市民の皆さんと一緒に長浜の医療を考えるためのタウンミーティングを、7月頃から各地で複数回開催します。詳細が決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。



市立病院通信(146)

# お元気ですか

周麻酔期看護師をご存じですか

市立長浜病院 手術室

看護主査

周麻酔期看護師

特定看護師

高田 憲明

私は、周麻酔期看護師として、手術室で麻酔科医師の補助と手術室看護師の業務を行っています。

近年、周麻酔期看護師は、①麻酔科学に関連する診療の広がりや良質な医療を求める社会の要請、②麻酔開始の人手不足解消とチーム医療の促進、③麻酔科診療チームに専従する看護師の不足解決のため注目され、全国的にも配置が進み、当院でも配置されたものです。

なお、周麻酔期看護師は、看護大学院で周麻酔期看護学(高度実践)の教育・実習を経て修士課程を修了している必要があります。

私の主な役割は、麻酔科医師と業務の協働・委譲を行うことです。これにより、麻酔科医師の業務軽減や麻酔・手術による様々な危険を減らし、また、患者さん

には、手術室看護師としての経験と知識を活かしたサポートを行い、より安全・安楽に手術の前後を過ごしていただきたいと思います。活動しています。さらに、麻酔業務だけでなく、各科の医師から依頼があった際に、病棟などで医師の業務の一部を担っています。

そして、患者さんの手術後の痛みを軽減させ、安楽に手術後を過ごしてもらい、早期に社会復帰できるように、麻酔科医師と、手術後の痛みが特に強い期間で患者さんの痛みの評価を行い、必要時には主治医と相談し痛み止めの調整をしています。現在、この調整は一部の患者さんを対象として、麻酔科医師・手術室スタッフ・薬剤師と役割分担し活動しており、今後もその対象の範囲を徐々に拡大していく予定です。

手術後の痛みについて、要望がある場合は外来・入院支援外来や手術室看護師の説明時にご相談ください。

問 市立長浜病院

☎68・2300(代表)